


新任医師のご紹介

 秋藤洋一院長、診療部長、内科医の中山剛、内科医長の尾坂妙子先生、歯科科長の久保克行先生が着任されました。


尾坂先生は、智頭病院が二度目で、前回「ハイカラさん」で優勝歴があります。お嬢様と野草を探しての散歩が趣味とのことで、出会いがあるかも…。




内科医長
尾坂妙子先生

診療部長・内科医


中山剛先生

 中山先生は、ラグビー・サッカー・空手など、熊本県出身のスポーツマンです。一方、趣味は「お城ピクニック」だと！智頭の第一印象は「散歩がしたく

なる」と。トレッキングなどにも参加して欲しいですね。

 「お祭りやイベントに親子で参加したい」との尾坂先生は、「街並み・伝統や新しい町づくりが共存する魅力的な町」と、智頭町を評価しておられます。

医療は「お話・考えを共有しながら、一緒に解決していく姿勢で臨みたい」とのことです。

 中山先生は①病院の医師（外来・入院）、②町の医師（公衆衛生・訪問診療・介護連携）、③後世のための医師（学会発表・執筆）の三つの柱への取り組みを、全力で挑戦したいと話しておられます。頼もしいよ！


 岡山大学歯学部大学院卒の久保克行先生は、香川県出身で、旅行が趣味、特技はスノーボード！鳥取市立病院に勤務され、
歯科科長




久保克行先生
濱崎前院長との出会いから智頭の「訪問歯科」を担われます。


「のどか・川の水がきれい・交通の要所」と智頭町の印象を話され、「地域医療の充実に努めて行きます」ですって。嬉しいナ。


訪問歯科のご紹介


 訪問歯科って、馴染みが無いのですが…。


 はい。「訪問診療・訪問看護」は、よくご承知ですよ。

 病院に通院が困難な人をご家庭など生活の場に、医師や看護師チームが訪問し、医療・看護をするのよ。

 その通りで、訪問歯科もかかりつけ歯科医などに通院が困難な人の生活を支えます。智頭病院の歯科は、訪問が主体です。かかりつけ歯科がある人は対象外なのです。

 はい。かかりつけの歯科医が対応困難な訪問歯科や、かかりつけのない人への支援です。院内での通常の歯科外来は、木曜日の午後のみとしています。


 訪問歯科の対象は？

 う歯（虫歯）や歯槽膿漏など口の中の問題、それらは食べにくい、美味しく食べられないなどの困り感になります。さらに、食べるとおむせる、誤嚥し、肺炎で入院したなどの人は、重


要になりますが、口腔内の汚染を除くことや、口腔内のリハビリテーション、つまり、咬む・咀嚼する、飲み込む機能を高める具体的な支援もします。

ご自宅などで、レントゲン写真を撮るなどもできますよ。

智頭病院に来ていただくことが、例外的に、あり得ます。

 費用はどうなるの？

訪問診療などと同様に、生活支援の観点や病状等を基に、「介護保険」と「医療保険」の適用・使い分けになります。

 具体的な利用方法は？

予約制で、専用電話があり、歯科専門の事務職員や歯科衛生士と私のチームで対応します。

利用されたいご家族が直接電話されても良いですが、ケアマネージャーや、智頭病院の訪問診療・訪問看護などを通して、困り感や願いをお話ください。

専用車で、智頭町内に出かけて診療をするので、「走る歯科医」の愛称もありますよ。（笑）詳しくは、作成したパンフレット等をご覧くださいね。